

水と緑の森づくり基金の今後の活用について

○基金の現状について

現在、令和5年度から「第4期5箇年計画」がスタートしているところであり、令和5年に多く発生したツキノワグマの人身被害対策のため、「緩衝帯等整備事業」などの令和6年度事業費が大幅に増加し、令和6年度末の基金残高は、103,334万円（下記基金の状況について）となる見込である。

○基金の活用について

「第50回全国育樹祭」が令和9年秋に秋田県での開催が決定し、「林業県秋田」を全国に発信する絶好の機会となる。（お手入れ会場「県立北欧の杜公園」、式典会場「ニプロハチ公ドーム」に決定）

全国育樹祭では、関連行事として「全国緑の少年団活動発表大会」や「育林交流集会」などが開催され、この関連行事は、水と緑の森づくり税創設の趣旨に適い、特に次代を担う「緑の少年団の活動」については、森林・林業教育に直接関係する事業であることから、基金運営委員会の意見を伺い、当該基金を活用したいと考えている。

なお、緊急な事業実施に備え、税収の5%程度（約2,300万円）の基金残高は確保する。

○森づくり税事業の方針

全国育樹祭への基金活用にあたり、令和9年度まで市町村等の事業計画の延期や事業の一時休止（主に針広混交林化整備事業やふれあいの森整備事業などハード事業を想定）を伴うことから、全国育樹祭開催の意義や理念を広くアナウンスし、市町村、ボランティア団体等からの理解を得るとともに、協力要請を進めていく。

秋田県水と緑の森づくり基金の状況について

単位：万円

| 年度 | 期首残額 | 積立額 | 取崩額 | 期末残額 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 令和元年度 | 8,272 | 47,396 | 43,470 | 12,198 |
| 令和2年度 | 12,198 | 46,405 | 45,428 | 13,175 |
| 令和3年度 | 13,175 | 46,891 | 45,560 | 14,506 |
| 令和4年度 | 14,506 | 48,824 | 44,614 | 18,716 |
| 令和5年度 | 18,716 | 45,710 | 47,640 | 16,786 |
| 令和6年度 | 16,786 | 45,500 | 51,952 | 10,334 |